

# 令和8年度 波野小学校グランドデザイン

●鹿嶋市教育目標  
ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう  
健康と安全の確保に努め活力ある心を育てる  
郷土の理解を深め郷土を愛する心を養う

●鹿嶋市教育大綱  
基本理念「主体的に学び 人とつながり  
未来をひらく 鹿嶋つ子」

## 鹿島中学校区小中一貫教育スローガン なりたいたい自分になるために



学校教育目標

すすんで 学び 考え 表現する 笑顔 かがやく 波野の子



波野小学校：令和8年度  
キャッチフレーズ

笑顔あふれる波野小学校 みんなで創る自慢の学校

こんな学校を目指します

- ◎授業づくり：授業の改善・充実を図り 子供たちの学力が伸びる学校
- ◎居場所づくり：子供たちが安心して 楽しく学べる学校
- ◎絆づくり：家庭・地域との絆を深める「地域とともに歩む学校」
- ◎職員が「チーム波野小」として協働・連携し 充実した教育活動ができる学校



こんな児童を育てます

- ◎自分のよさ 友達のよさ 波野のよさが 分かる子
- ◎礼儀正しく思いやりのある心をもって人に接することができる子
- ◎自分のすべきことが分かり 自ら取り組むことができる子
- ◎夢や希望をもち その実現に向けて粘り強く努力する子

### 豊かな学びへの授業づくり

### とめて居場所づくり

### 仲間と絆づくり

- ①「授業がわかりやすい」と回答する児童 100%
  - ②「興味や意欲を高める授業をしている」と回答する児童 98%
  - ③「1人1台端末を活用して学習に取り組んでいる」と回答する児童 95%
  - ④「進んで読書をしている」と回答する保護者 70%
- 「分かる・できる」を実感できる授業の実践
    - 探究的な学びを推進するための導入の工夫
    - 見通しをもち他者と協働しながら課題の解決に取り組む学習の充実
    - 学習場面に応じた効果的なICTの活用の充実
    - ユニバーサルデザインを取り入れた授業の実践
  - 基礎的・基本的な学習内容の確実な定着と言語能力の育成
    - 学習した知識・技能を活用する場の工夫
    - 少人数指導や習熟度指導等指導方法の工夫・改善
    - 振り返りの充実
    - 図書館の活用や言語環境の整備
  - 地域の教育資源（人・もの）活用と外部講師、地域の専門家と創る魅力ある授業
    - 市教育センター、県関係機関等の出前講座
    - 体験活動を取り入れた、実感を伴った学習の充実

- ①「教室は安心できる」と回答する児童 90%
  - ②「困った時相談しやすい」と回答する児童 85%
  - ③「いじめのない学校づくりに取り組んでいる」と回答する保護者 90%
  - ④「命の大切さや社会のきまり、郷土のことについて学んでいる」と回答する児童 90%
- 互いのよさを認め合い、協力して楽しく生活できる関わり方の推進
    - 人権意識の醸成と「学校いじめ防止基本方針」の具現化  
- 教育相談 - 人権集会 - なかよし集会 等
    - 道徳科「考え、議論する道徳」の推進

【重点目標】思いやり、善悪の判断、努力と強い意志、郷土を愛する態度
  - 自己存在感と充実感が感じられる教育活動の推進
    - 生徒指導の実践上の4つの視点をふまえた授業づくり、集団づくり  
「自己存在感の感受」「共感的な人間関係」「自己決定の場の提供」「安全・安心な風土の醸成」
    - 配慮が必要な児童についてのチーム支援
  - 学校内外の安全管理の徹底
    - 避難（防災）訓練、交通安全教室等の実施と工夫
    - 毎月の校内安全点検や保護者・地域「なみばと」との連携強化

- ①「いろいろな活動が楽しみ」と回答する児童 95%
  - ②「家庭・地域と連携・協力している」と回答する保護者 85%
  - ③「情報をよく発信している」と回答する保護者 90%
- 「あいさつは人より先に心から」
- 共感的な人間関係の構築
    - 児童の発意・発想を大切に学級活動や児童会活動の充実
    - 縦割り班による異学年交流活動の実施
    - 児童会活動の活性化と児童主体の学校行事
  - 学校、家庭及び地域の連携（地域とともに歩む学校）
    - 郷土に対する愛情や理解を深める取組の企画・運営  
→波野公民館と連携した取組（住民体育祭、波野まつり）
    - あいさつ運動やさわやかマナーアップ運動の推進
  - 積極的な情報発信
    - 学校ホームページ、メール配信、各種たより
    - 学校評価の工夫、学校運営連絡協議会（C・S）の推進

### 信頼される教師

### 指導力

### 子どもの可能性

### 潜在能力

### 家庭で取り組んでほしいこと

### 家庭力

- 教職員の資質・能力の向上と「チーム波野小」体制の充実
- 授業力の向上（1人1回以上の研究授業公開）
    - 個人目標の設定とPDCAサイクルの実施
    - 校内授業研究の充実（相互授業参観の日常化）
  - コンプライアンス意識の高揚（服務規律違反者〇）
    - 研修方法・内容の工夫
  - 働き方改革のより一層の推進（超過勤務年間360時間以内）
    - 計画的な業務履行と勤務時間を意識した働き方（スケジュール・タイムマネジメント）
    - ICT機器の活用による業務の効率化

- 自己肯定感・自己有用感の高揚
  - 児童一人一人の活躍の場の設定
- よりよい生活習慣の育成
  - よりよい生活リズム
  - 「波野っ子の生活のきまり」の共通実践
- キャリア教育の推進
  - 体験学習の充実
  - 自己の可能性の発見や実現に向けたキャリア・カウンセリング
  - 夢の実現に向けたキャリア・パスポートの活用

- 自分のことは自分でできる子どもに
  - 朝一人で起きられる
  - 身じたくを整えられる
- 生活のリズムが整った子どもに
  - 早寝、早起き、しっかり朝ごはん
  - 時間を守る
- まわりの人と積極的に交流する子どもに
  - あいさつ返事
  - 相手の目を見て「話す・聞く」
  - 地域の行事に積極的に参加する
- よりよく生きようとする子どもに
  - 善悪の正しい判断
  - 〇きまりを守り、我慢できる
  - 〇夢や希望をもつ